

行研へのいざない ～「思い立ったが吉日」～

国家試験指導センター行政研究所

所長 西川 伸一

(政治経済学部教授)

この冊子を開いてくださったあなたは、公務員になってみたい、公のために働きたいと漠然とでも思っていることでしょう。しかし、思っているだけでは夢は実現しません。行動しなければならないのです。

具体的に考えてみましょう。公務員として働くには、その採用試験に合格しなければなりません。志望をはっきりさせ（一口に公務員といっても、実に様々な職種があります）、その試験科目に備えた勉強を着実に続ける必要があります。

「続ける」とはどういうことでしょうか。

司法試験の受験指導などで有名な伊藤塾の伊藤真塾長は、「試験に合格するのに最も必要な能力は、「頭のよさ」ではありません。〔中略〕それは「続ける力」です」と述べています。なぜなら、「ある程度の時間をかけて、地道にコツコツと、同じことを繰り返して勉強する」ことが難関突破には欠かせないからです（伊藤真（2008）『続ける力』幻冬舎新書、16-17頁）。

そのためには、毎日机に向かわなければ落ち着かないくらいに、勉強することを習慣づければよいのです。毎朝歯磨きをしないと気持ちが悪いのと同じレベルにまで「高める」のです。

とはいえ、同じことを毎日繰り返すことは、単調で退屈な作業に違いありません。飽きることなく「続ける」には、やる気を維持できる環境に自分を置くことが効果的です。第一に、励まし合い相談し合える「同志」を身近にもつことでしょう。

私たち行政研究所（略称・行研ぎょうけん）は、公務員試験合格を目指すみなさんに、勉強する場所とプロ講師による充実した授業を提供しています。そこには、同じ志を持つ多くの仲間が集ります。すなわち、「続ける」習慣を身につける条件がすべて整っています。

行研は明治大学にあって50年以上の歴史をもち、これまで多くの公務員を輩出してきました。とりわけ、みなさんに目指してほしいのは、最難関の国家公務員採用総合職試験です。国の行政の中枢に多くの明治大学出身者が入ることで、この国はもっとよくなると私は確信してやみません。

さあ「思い立ったが吉日」です。すぐに行動を起こして、行研であなたの夢を実現してみませんか。

2013年4月1日